

中長期将来像		・質の高い避難誘導体制が確立されている安全性の高い施設。 ・利用者が施設の役割を学ぶことのできる防災学習施設。 ・職員、または事務所に防災ガイドとの連携役としてコーディネーターが5人以上いる。 ・防災学習に向けた情報収集、整理がなされ職員等で共有化が図られ、ツアーメニューを提供できる。							
施策	だれが	項目	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	評価指標
非常配備体制の確立	職員	年度ごとの目標	・津波発生または津波発生の恐れのある場合に、非常配備体制（高台避難場所に避難誘導する体制）が確立される					・津波発生または津波発生の恐れのある場合に、非常配備体制（高台避難場所に避難誘導する体制）が確立される。	【最終】R3年度 マニュアル（初版）の完成 ○評価者：市、指定管理者
		やること	・指定管理者版津波避難誘導マニュアル作成 ・職員への周知徹底						
		実績	・避難マニュアル（初版）の作成 ・職員への周知						
防災意識啓発	職員 おはなしころりん	年度ごとの目標		・施設の役割の周知が図られ、職員がマニュアルに沿った安全な避難誘導等の対応を身につける	・施設の役割の周知が図られ、職員がマニュアルに沿った安全な避難誘導等の対応を身につける	・施設の役割の周知が図られ、避難誘導マニュアルに沿った職員の迅速かつ安全な避難誘導の実施(質の向上) ・参加団体数の拡大		・より安全性の高い避難マニュアルが作成され、全職員が質の高い避難誘導等の対応が身についている。 ・多くの人を巻き込むことによって、施設の役割が広く理解され、防災意識の向上が図られている。	【中間】R5年度 アンケート調査による一時避難場所であることの認知度（アンケートNo.2）80%以上 ○評価者：施設利用者 【最終】R7年度 避難訓練への参加団体数7団体以上 ○評価者：指定管理者
		やること		・防災訓練実施（周辺施設、市民、施設利用者等の巻き込み） ・避難誘導マニュアルの見直し	・防災訓練実施（周辺施設、市民、施設利用者等の巻き込み） ・避難誘導マニュアルの見直し	・避難訓練実施に伴う周辺施設、市民、施設利用者等への情報提供の徹底 ・避難誘導マニュアルの見直し ・新聞社への取材要請の徹底			
		実績		・避難マニュアル（初版）に基づいた避難訓練の実施 【評価指標】 ・一時避難場所の認知度：69%	・避難マニュアル（初版）に基づいた避難訓練の実施 【評価指標】 ・一時避難場所の認知度：65% ・避難訓練参加団体数：4団体				
情報発信手法の確立	職員 おはなしころりん	年度ごとの目標			・施設の役割の周知が図られ、利用者の防災意識を高める	・発信する情報の質の向上(詳細性、統一性)に努めるとともに、情報提供量の拡充		・市民をはじめ、より多くの人に施設の役割が浸透し、防災意識の向上が図られている。	【中間】R5年度 アンケート調査による一時避難場所であることの認知度（アンケートNo.2）及び満足度（アンケートNo.8）80%以上 ○評価者：施設利用者 【最終】R7年度 市民をはじめ、より多くの人に施設の役割が浸透し、防災意識の向上が図られている ○評価者：利用者
		やること	・施設内への貼付及びHP等による役割の情報発信（更新頻度を高める）	・施設内への貼付及びHP等による役割の情報発信（更新頻度を高める）	・HPを100回更新する	・HPを120回更新する	・HPを150回更新する		
		実績	・施設内への貼紙及びホームページへの役割等の情報掲載 ・HP更新81回	・施設内への貼紙及びホームページへの役割等の情報掲載 ・HP更新97回 【評価指標】 ・一時避難場所の認知度：69% ・満足度：79%	・施設内への貼紙及びホームページへの役割等の情報掲載 ・HP更新101回(2月末日時点) 【評価指標】 ・一時避難場所の認知度：65% ・満足度：79%				

中長期将来像		・質の高い避難誘導体制が確立されている安全性の高い施設。 ・利用者が施設の役割を学ぶことのできる防災学習施設。 ・職員、または事務所に防災ガイドとの連携役としてコーディネーターが5人以上いる。 ・防災学習に向けた情報収集、整理がなされ職員等で共有化が図られ、ツアーメニューを提供できる。							
施策	だれが	項目	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	評価指標
伝承活動	職員 おはなしころりん	年度ごとの目標			・利用者の防災意識の向上とあわせ、震災の風化防止を図る	・防災学習ネットワークの周知拡大を図りながら、利用者の防災意識の向上とあわせ、震災の風化防止を図る		・施設が防災を学ぶ場所として認識されるとともに、定期的な展示やイベント・訓練の実施により、利用者の防災意識の向上と合わせ、風化の防止が図られる。	【中間】R5年度 展示：年間15回以上実施 イベント：年間4回以上実施 訓練：年間1回以上実施 ○評価者：市、指定管理者
		やること	・防災に係る展示（津波被災状況写真展、震災・復興・防災に関する書籍の供覧） ・防災・減災学習の受入	・防災に係る展示（津波被災状況写真展、震災・復興・防災に関する書籍の供覧） ・防災・減災学習の受入	・避難訓練年間1回以上実施 ・展示年15回以上実施 ・イベント年間4回以上実施	・展示活動の継続 ・防災学習ネットワークの周知を図るため、防災管理室との連携強化 ・防災ウィークの実施、内容の見直し			【最終】R7年度 施設が防災を学ぶ場所として認識されるとともに、定期的な展示やイベント・訓練の実施により、利用者の防災意識の向上と合わせ、風化の防止が図られる ○評価者：市、指定管理者
		実績	【評価指標】 ・展示17回 ・イベント1回 ・避難訓練1回	【評価指標】 ・展示21回 ・イベント1回 ・避難訓練1回	【評価指標】 ・展示13回 ・イベント1回 ⇒防災ウィークの実施(2月末日時点) ・避難訓練1回				
遺構・伝承施設間連携	職員	年度ごとの目標	・利用者に対する受入体制が構築され、防災学習ツアーの受入基盤整備が図られる。			・防災学習における広域の受け入れ態勢の基盤整備を図る。		・防災学習において、広域の受入態勢が構築される。	【中間】R3年度 各施設の情報資料作成完了及び防災学習ツアー等受入整備完了 ○評価者：市、指定管理者 【最終】R7年度 防災学習において、広域の受入態勢が構築される ○評価者：指定管理者
		やること	・核施設の情報収集（研修を兼ねる） ・連絡網等の作成	・防災学習ツアーの広域連携（つなみメモリアル等）	・防災学習ツアーの広域連携（つなみメモリアル等）	・防災学習ツアーの広域連携（つなみメモリアル等）			
		実績		・各施設の情報資料設置 ・防災学習ツアー等受入	・東日本大震災津波伝承館等、各施設の 情報資料設置 ・防災学習ツアー等受入				
防災学習受入態勢整備	職員	年度ごとの目標			・防災学習施設等の情報整理がされている ・職員または事務所に防災ガイドとの連携役のコーディネーターが2人以上いる	・防災学習ツアーに係る各コンテンツの見直し及びブラッシュアップ ※市防災管理室と要協議		・利用者が希望するテーマに沿った施設の紹介や道案内が適切に行われている。 ・職員、または事務所に防災ガイドとの連携役としてコーディネーターが5人以上いる。	【中間】R5年度 ・ <u>2人以上</u> のコーディネーターの確立 ○評価者：指定管理者 【最終】R7年度 ・ <u>5人以上</u> のコーディネーターの確立 ○評価者：指定管理者
		やること	・現地視察・確認等の職員研修の実施（津波伝承館、椿の里・大船渡ガイドの会等との連携）	・現地視察・確認等の職員研修の実施（津波伝承館、椿の里・大船渡ガイドの会等との連携）	・現地視察・確認等の職員研修の実施（津波伝承館、椿の里・大船渡ガイドの会等との連携）	・前年度実施のモニターツアー及びアンケート調査に伴う課題を活かした事業展開			
		実績	・研修1回 ・モニターツアー1回	・防災ウィーク等、職員の現地視察等、確認 ※新型コロナウイルス流行のため、モニターツアーの実績なし	・防災ウィーク等、職員の現地視察等、確認 ・モニターツアー1回				

中長期将来像		- 施設の防災・観光・交流機能の位置や役割が広く認知され、観光案内所として認識できる状態となる。 - 各種サイトに観光案内所として掲載されている。 - 協会HPやSNSと連動し、大船渡駅周辺を中心に、市内の観光情報を網羅しているサイトとして確立されている。 - 指定管理者の企画によるおおふなぼーとを起点とした「まちあるきコース」が確立され、まちの賑わい創出に寄与している。							
施策	だれが	項目	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	評価指標
視認性の向上	職員	年度ごとの目標				・観光案内所としての認知度向上とデザイン性の向上			【最終】 R7年度 アンケート調査による <u>1階に観光案内所があることの認知度</u> （アンケートNo.4）及び <u>満足度</u> （アンケートNo.8） <u>80%以上</u> ○評価者：施設利用者
		やること	・1階エントランスホールのレイアウトの変更及び装飾	・1階エントランスホールのレイアウトの変更及び装飾	・1階エントランスホールのレイアウトの変更及び装飾	・アンケート結果に伴う、1階エントランスホールのレイアウトの変更及び装飾等		・観光案内所としてのデザインが完了し、認知度も向上し、観光客及び旅行会社等から案内所として認識される。	
		実績		・屋外へのぼり旗設置 ・エントランスホールのレイアウト変更 ・カウンターへの職員配置 【評価指標】 ・観光案内所の認知度：78% ・満足度：79%	・南側ガラスへ観光タペストリーの設置 ・カウンターへの職員配置の継続 【評価指標】 ・観光案内所の認知度：84% ・満足度：79%				
情報発信手法の確立	職員	年度ごとの目標				・施設としての役割の認知度向上			【最終】 R7年度 アンケート調査による <u>1階に観光案内所があることの認知度</u> （アンケートNo.4）及び <u>満足度</u> （アンケートNo.8） <u>80%以上</u> ○評価者：施設利用者
		やること	・ポスター及びパンフレット掲示 ・HP、SNS等の活用	・ポスター及びパンフレット掲示 ・HP、SNS等の活用	・ポスター及びパンフレット掲示 ・HP、SNS等の活用	・ポスター及びパンフレット掲示 ・HP、SNS等を活用し、発信する情報の質の向上(詳細性、統一性)を図るとともに、更新頻度を高める		・施設の機能の役割が広く発信され、おおふなぼーとに来れば大船渡の観光・物産情報が網羅できると認識される。 ・多くの情報発信により、各種サイト等への情報掲載を増やす。	
		実績		・南側ガラスへ観光タペストリーの設置 ・カウンターへの職員配置の継続 【評価指標】 ・観光案内所の認知度：78% ・満足度：79%	・HPやSNS等を活用した施設の役割、イベント情報発信 【評価指標】 ・観光案内所の認知度：84% ・満足度：79%				
周辺施設との連携	職員 おはなしころりん	年度ごとの目標				・大船渡駅周辺のにぎわい創出と観光情報発信拠点の確立			【最終】 R7年度 アンケート調査による <u>1階に観光案内所があることの認知度</u> （アンケートNo.4）及び <u>満足度</u> （アンケートNo.8） <u>80%以上</u> ○評価者：施設利用者
		やること	・イベント等、各種チラシの掲示 ・HP、SNS等の活用	・イベント等、各種チラシの掲示 ・HP、SNS等の活用	・イベント等、各種チラシの掲示 ・HP、SNS等の活用	・イベント等、各種チラシの掲示 ・HP、SNS等を活用し、発信する情報の質の向上(詳細性、統一性)を図るとともに、更新頻度を高める		・協会HPやSNSと連動し、おおふなぼーと及びHP内で駅周辺をはじめ、市内のイベント情報が網羅できると認識される。 ・施設の観光・交流機能の位置や役割が広く認識される。	
		実績		・イベントチラシの掲示及びイベントへの協力 ・HPやSNS等を活用した情報発信 【評価指標】 ・観光案内所の認知度：78% ・満足度：79%	・イベントチラシの掲示及びイベントへの協力 ・HPやSNS等を活用した情報発信 【評価指標】 ・観光案内所の認知度：84% ・満足度：79%				
マチナカ観光の造成	職員	年度ごとの目標				・大船渡駅周辺地区のにぎわい創出とまち歩き拠点の案内施設の確立			【最終】 R7年度 アンケート調査による <u>1階に観光案内所があることの認知度</u> （アンケートNo.4）及び <u>満足度</u> （アンケートNo.8） <u>80%以上</u> ○評価者：施設利用者
		やること	・まち歩きツアー及びルートの造成から実施（年2回） ・実施ごとにブラッシュアップ	・まち歩きツアー及びルートの造成から実施（年2回） ・実施ごとにブラッシュアップ	・まち歩きツアー及びルートの造成から実施（年2回） ・実施ごとにブラッシュアップ	・まち歩きコースを確立し、情報発信として、HP等へ掲載		・大船渡駅周辺地区のにぎわい創出とまち歩き拠点の案内施設として確立される。 ・独自のまち歩き企画として年2回実施するとともに、所要時間に合わせたコース造成が確立されている。	
		実績		・防災ウィーク内の防災×観光アドベンチャーゲームの実施 【評価指標】 ・観光案内所の認知度：78% ・満足度：79%	・教育旅行会社への防災ウィーク内の防災×観光アドベンチャーゲームの紹介及び対応 【評価指標】 ・観光案内所の認知度：84% ・満足度：79%				

中長期将来像		・市内外の防災、商業、観光に関連する多くの団体（協議会）等と情報交換や業務連携ができている							
施策	だれが		R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	評価指標
現状の把握	職員	年度ごとの目標	・連携が不足している分野等の認識			・防災、商業、観光に深く精通し、利用者への情報提供量の拡充と質の向上		・防災、商業、観光に深く精通し、利用者への情報提供量の拡充と質の向上が図られる。	【中間】R3年度 連携が不足している分野等を認識している ○評価者：指定管理者
		やること	・情報交換や業務連携している団体等の把握及び連携可能な団体等の抽出	・必要に応じて、要望等のある団体等との連携強化	・必要に応じて、要望等のある団体等との連携強化	・関係団体への継続参加 ・発信する情報の質の向上(詳細性、統一性)に努めるとともに、情報提供量の拡充			【最終】R7年度 防災、商業、観光に深く精通し、利用者への情報提供量の拡充と質の向上が図られる。 ○評価者：市、指定管理者
		実績		・大船渡商店街及び気仙丸活用に係るWGへの参加	・大船渡商店街及び気仙丸活用に係るWG等への継続参加 ・大船渡をアートで飾るプロジェクト実行委員会への新規参加				
既存及び新規関係団体との連携強化	職員	年度ごとの目標		・防災、商業、観光の連携強化と新規団体との連携拡充		・防災、商業、観光に深く精通し、利用者への情報提供量の拡充と質の向上		・各種イベント等への協力及び連携体制等が確立されている。	【中間】R4年度 防災、商業、観光の連携強化と新規団体との連携拡充 ○評価者：指定管理者
		やること	・協議会等への継続参加と情報共有 ・情報交換や業務連携していない団体との協議	・協議会等への継続参加と情報共有 ・情報交換や業務連携していない団体との協議	・協議会等への継続参加と情報共有 ・情報交換や業務連携していない団体との協議	・協議会等への継続参加と情報共有 ・周辺施設等との情報共有による連携強化			【最終】継続 各種イベント等への協力及び連携体制等が確立されている。 ○評価者：市、指定管理者
		実績		・大船渡駅周辺で開催される産業まつり、防潮堤アートに係る会議等への新規参加	・大船渡駅周辺で開催される産業まつり実行委員会への参加 ・大船渡をアートで飾るプロジェクト実行委員会への新規参加				

中長期将来像		・市民交流や地域づくりの場の機会が増える							
施策	だれが	項目	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	評価指標
現状の把握	指定管理者 おはなしころりん	年度ごとの目標	・利用者ニーズに応じてくれる施設と認識され、居心地の良い施設づくりの基盤整備が図られる			・居心地の良い施設づくりの基盤整備の確立		・居心地が良く、市民が集まりやすい施設となっている	【中間】R4年度 改善情報の公開 ○評価者：指定管理者 【最終】R7年度 アンケート調査による満足度80%以上 ○評価者：施設利用者
		やること	・アンケート結果をもとに、利用者ニーズの把握とともに改善を図る	・アンケート調査項目及び各種事業内容の見直し等	・アンケート調査項目及び各種事業内容の見直し等	・アンケート調査項目及び各種事業内容の見直し等			
		実績		・アンケート実施に伴うニーズの把握及び意見に対する改善 【評価指標】 ・改善情報公開済み ・満足度79%	・アンケート実施に伴うニーズの把握（12月予定） ・意見に対する改善（11月公表） 【評価指標】 ・満足度79%				
施設の利用促進	指定管理者 おはなしころりん	年度ごとの目標				・おおふなぼーとの認知度向上と貸館稼働率の向上		・おおふなぼーとの認知度が向上し、貸館稼働率が50%を超える	【中間】R5年度 年間50事業実施 ○評価者：指定管理者 【最終】R7年度 貸館稼働率が50%を超える ○評価者：指定管理者
		やること	・各種市民交流活動の展開	・各種市民交流活動の展開	・各種市民交流活動の展開	・アンケート結果をもとに、ニーズに合わせた各種市民交流活動の展開			
		実績	【評価指標】 ・88事業実施	【評価指標】 ・108事業実施	【評価指標】 ・111事業実施(2月末日時点)				
施設のPR	指定管理者 おはなしころりん	年度ごとの目標			・おおふなぼーとの認知度アップとともに、施設に対する興味が高まり、HPの閲覧数が増加する	・おおふなぼーとの認知度アップとともに、施設に対する興味が高まり、HPの閲覧数が増加する		・質の高い情報発信が行われ、HPの閲覧数が年間25,000件を超える	【中間】R5年度 情報発信年間120件 ○評価者：指定管理者 【最終】R7年度 HPの閲覧数が年間25,000件 ○評価者：指定管理者
		やること	・施設の存在、役割、イベント等の情報発信（HP、新聞、広報等）	・施設の存在、役割、イベント等の情報発信（HP、新聞、広報等）	・施設の存在、役割、イベント等の情報発信（HP、新聞、広報等）	・施設の存在、役割、イベント等の情報発信（HP、新聞、広報等）継続			
		実績	【評価指標】 ・情報発信：81件 ・HP閲覧数：8,229件	【評価指標】 ・情報発信：97件 ・HP閲覧数：9,235件	【評価指標】 ・情報発信101回(2月末日時点) ・HP閲覧数：47,000件				